

神経膠腫におけるスプライシング異常に関する観察研究

1. 研究の対象

2011年6月から2023年12月31日までに国立がん研究センター中央病院を受診した神経膠腫および神経膠芽腫の患者のうち、包括的同意が得られている方。

2. 研究目的・方法

本研究は、神経膠腫において特定の遺伝子変異がどのようなメカニズムでスプライシング*異常を誘導するのか、それらのスプライシング異常が病態形成に重要な役割を果たすのか、また薬理学的スプライシング阻害が治療手段として有効かどうか、バイオマーカーとして活用可能かどうかを、患者サンプルや分子生物学的研究によって検討します。

(*スプライシングとは、DNAからRNAが作られる過程で、イントロン部分を除去して成熟したRNAを作る仕組みのことを言います。)

研究実施期間: 研究許可日から2023年12月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 年齢、性別、病理組織型、治療経過(各治療の種類・期間・治療効果)、遺伝子変異・染色体異常プロファイル等

試料: 血液(血漿)、腫瘍凍結検体

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

国立がん研究センター研究所がん RNA 研究ユニット 吉見 昭秀 (研究責任者)

104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL: 03-3542-2511